



～ 協働・共創～



日本語教室



新年の集い-New Year Party-

「ごあいさつ」

渋川市国際交流協会 会長 町田 久

会員の皆様におかれましては、日頃より本協会の運営に御理解、御協力をいただき深く感謝申し上げます。

皆様御存じのとおり、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、各種事業の開催制限が廃止となりました。本協会においても、飲食を伴う交流事業は4年ぶりの開催となり、会員の皆様をはじめ、ボランティアの方々、外国籍の方々など、多くの皆様から御支援と御協力をいただき、無事開催することができましたことに、心より感謝を申し上げます。

近年の国際情勢の緊迫化は、私たちに多くの「課題」を投げかけてきました。冷戦後の国際秩序を根底から揺るがしかねない深刻な事態は、世界のいかなる地域においても対岸の火事ではありません。各々の言葉や文化が違うなかで、多文化共生の意識が伝播していくことが重要であると改めて感じております。

さて、平成5年度から継続して実施している日本語教

室では、日本語学習のみならず、様々な国籍・世代の人々が悩みを共有する場となっております。今年度から参加される教師ボランティアの方も多く、受講生の参加背景や悩みを共有するべく、教師間で語らう場を教室終了後に開いています。受講生も教師も誰1人取り残さないことを目的としている本事業は、多文化共生において非常に有意義なものであると実感しております。

来年度におきましても、多様な文化の理解・尊重し、多文化共生社会を実現するべく、様々な国際交流事業を実施していきたいと考えております。

そのためには、会員の皆様、協会ボランティアの皆様の方が不可欠でありますので、引き続き変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

目次 Contents

- p.1 表紙
- p.2~4 イベント報告
- p.5 日本語教育講座報告
- p.6~7 Face to Face(市内ALT(外国人指導助手)紹介)
- p.8 お知らせ

○協会員を随時募集しています。

→ 詳細は8ページをご覧ください。

2023年度イベント報告

10/14 土

バーベキュー 交流会

● 茨川市総合公園

今年度は、バーベキュー交流会を4年ぶりに開催しました。老若男女、国籍問わず多くの方々にご参加いただきました。快晴の中、レクリエーションで盛り上がった後に、バーベキューで皆さんお腹いっぱいになりました。



みんなでラジオ体操



玉入れて勝負



バーベキューを満喫



バーベキュー交流会集合写真

1/21 日

新年の集い -New Year Party-

● 中央公民館

立食ランチを伴う新年パーティーを4年ぶりに開催しました。立食ランチでは、温かいおしるこで体を暖めながら、お寿司やお菓子を食べました。参加者のステージ発表では、タイ出身の参加者が伝統のダンスを披露し、参加者全員で輪になって踊りました。最後は馴染みのある日本の歌を合唱し、大変盛り上がりました。



豆つまみ難しい



上毛カルタで真剣勝負



新年の集い集合写真



立食ランチ



タイのダンスをみんなで



みんなでレクリエーション

8/27日

国際理解講座
講演会

●中央公民館

韓国語通訳案内士の山口容姫さんを講師とし、国際理解講座を開催しました。

デジタル社会における韓国旅行の手続きと、スマホアプリを用いた旅行の楽しみ方を分かりやすく説明いただきました。約30名の方にご参加いただきました。



先生の話に興味津々



スマホで通訳

アンケート

◎旅行をする際のポイントを教えていただいて役に立ちました。ありがとうございました。

◎とても勉強になりました。韓国の食や旅行に行くために必要なことがよく分かりました。

◎実際に翻訳アプリを使ってみて簡単にできて良かった。旅行に行ったら使ってみたいと思いました。

11月～1月

●中央公民館

楽しい韓国語講座
～初級編～

11月～1月にかけて韓国語講座を開催しました。

講師は、山口容姫さんにご協力いただきました。

ハングルの書き方や読み方から始まり、発音や単語など基礎から丁寧に教えていただきました。約30名の方にご参加いただきました。

韓国語講座を受講して

飯田 和子さん

親子で世代を越えてK-POPや韓国ドラマにハマっており、韓国語を覚えたいと考えていた際に当講座を知り、娘と共に昨年3か月に渡って10回の講座を受講しました。先生の説明もとても分かりやすく、時にはドラマでの会話の例を出したり、冗談を交えたりして、和やかな雰囲気でした。さらに、言葉だけでなく文化や食べ物についても知ることができました。質問にも応じて頂いて、今まで疑問に感じていた事も理解でき、ドラマのセリフや歌詞の意味も所々分かり娘と二人感激し、はしゃいでしまいました。そして、この受講を通して更に韓国文化等への思いも強まり、これからも学習していきたいと思っています。

コロナ禍も緩和されてきたので近いうちに娘と韓国に行き、自身で行動したり現地の方と対話して交流を深めたり、今まで以上に推し活も充実させていきたいです。



ハングルの勉強

2/25 日

中国家庭料理教室

●中央公民館 調理室

上海出身のカイケイさんに本場の中国家庭料理を教えてくださいました。

肉まんの皮づくりが難しそうでしたが、楽しく料理をしていました。

調理後は出来たての料理をみんなで食べながら、中国料理の歴史を講師から聞き、大変充実した時間を過ごすことができました。



生地から肉まんづくり

メニュー

杏仁豆腐

肉まん

ムースロー

木須肉(豚肉と黒きくらげの卵炒め)



中華料理を舌鼓

アンケート

◎先生の実習を見せていただきながらなので、分かりやすかったです。

◎素晴らしい大きさの肉まんができて感動です。自分でも作ってみます！

◎初めて参加しましたが、とっても楽しかったです。また参加したいと思います。

5/9 火

外国人のための日本文化教室(茶道)

●中央公民館

今回は、茶道を朝比奈章子さんに教えていただきました。初めて見る茶道の道具の説明を受け、作法について真剣に学びました。

参加者は、自分の点てたお茶を美味しく味わいました。



真剣に説明を聞いています



茶せんてかき混ぜます



点てたお茶を味わっています

日本語教育講座

日本語教室 中央公民館

昼の部 (10:00~11:30)

夜の部 (19:00~20:30)

5月~3月 毎週火曜日 (全36回)



岩田さんと石川先生



加藤チャラシーさんと加藤逸雄先生

在住外国人の方に、生活で使う日本語を学んでいただくため、日本語教室(昼の部・夜の部)を毎週火曜日に中央公民館で開催しました。講師は日本語教師ボランティアとしてご登録いただいた方々です。少人数で勉強を進め、それぞれが勉強したい内容に応じて丁寧に指導していただきました。

日本語を基礎から学ぶために参加された方も、日本語能力試験(JLPT)合格を目標に参加された方もそれぞれの目標に向け前進することのできた教室になりました。

日本語ボランティアの皆様、受講生の皆様、一年間ありがとうございました。

○日本語教室受講生 岩田 リシェールさん

はじめまして。私の名前は岩田リシェールです。私はこれからもずっと家ごと日本にいっしょに住みつづけたいと思っています。だから日本語をべんきょうするために日本語きょうしつにさんかしました。

きょうしつにさんかする前は、毎日の生活の中で日本語をおぼえようとしていましたが、あまりうまくいきませんでした。しかし、日本語きょうしつに入ってから新しい単語を覚えられ、かん字も少しずつ書けるようになり、正しい日本語の使い方も少し分かるようになりました。やっぱり日本語を学ぶのにかんきょうは大事だと思いました。これからもべんきょうをがんばります。また、母としての家事も仕事もあり、日本語を学ぶ時間がないので、しゅうに一回でも日本語きょうしつでべんきょうするきかいができ、色々な先生たちにしんせつにおしえてもらえて、とてもかんしゃしています。

○日本語教室受講生 加藤 チャラシーさん

こんにちは、私は加藤チャラシー、タイ人です。2017年に沼田市から渋川に引っ越してきたときに、渋川市日本語教室に参加しています。一生懸命日本語を勉強しています。しかし日本語は難しく、なかなか上達しません。また、日本語でのコミュニケーションはさらに難しく、私は大学で学んだことや社会人としての知識や経験を活かして働くことができておりません。そのため日本語能力試験レベルN1を取得できるくらいに上達したいと思っています。

クラスに参加してみると、日本語を勉強するだけでなく、他のいろいろな活動をすることができました。お正月行事など楽しいことを体験したり国際交流活動では、沢山の国の人たちと楽しい時間を過ごしました。私たちのために多くの活動を企画してくださった市役所の職員、またボランティアの皆さんに深く感謝したいと思います。

私たち外国人はできることがまだ沢山あります。異文化につ

いて学ぶ、新しい友達を作る、先生と勉強以外のことについても話し合うこと以外にも地域社会のために色々な事ができます。日本語は簡単ではありませんが、仕事や日常生活で日本語をもっと効果的に使い、社会参加したいと考えています。

○日本語教師ボランティア 石川 多恵子さん

国際交流には以前から興味を持っていましたが、なかなか一人では踏み出せませんでした。そんな中で広報に日本語教室のボランティア募集の記事が目にとまり、思い切って応募したのです。もちろん日本語を教えたことなんかないし、とりあえず行ってみて無理そうだったら断ればいいと呑気に考えていました。全くどうしてよいかかわからず、オロオロしているだけの私に先輩の先生方が、大丈夫だから、と優しく励ましてくださいました。

そんな私がこれまで続けてこられたのは、なんとと言っても生徒さんの日本語を勉強したい、という熱意です。私が担当しているのは、二人のお子さんを持つフィリピンのかたで仕事もしています。家事や仕事で家庭学習の時間がとれないようすが頑張っています。自身の住所氏名を漢字で書けるようになり、とてもうれしそうでした。一方教える側の私は日本語の難しさを痛感しています。いったい自分はどうやって日本語を覚えてきたのだろう、と不思議なくらいです。小学校1年生の国語のドリルに出てくる、日本人なら自明の言葉を彼女にわかるように説明することがとても難しいのです。とはいえ、日本が大好きと言ってくれる彼女と毎週楽しく勉強させていただいています。ニューイヤーパーティへのボランティア参加もとても楽しかったです。

近年渋川市でも多くの諸外国のかたが働いているのを見かけるようになりましたが、地域の日本人との交流は進んでいるようには感じられません。自分も何かできたら、と思っています。

○日本語教師ボランティア 加藤 逸雄さん

私は日本語教室の夜の部のお手伝いをして今年で4年目です。今期は9名の講師で10~15名程度の受講生の面倒をみています。受講生は中学生から働き盛りの年齢の方まで、出身国もさまざまです。毎年大半の方が新規の受講生です。この4年間一緒に講師が6名いるので、最近では、どんな教材が良いとか、受講生が家庭や学校や職場でどんな問題を抱えているのかなどについても情報交換することも増えました。受講生の日本語のレベルや講師の得意分野に合わせて、担当する受講生をかえたりと、臨機応変に対応できるようになってきたように思います。新年会も受講生のみなさんと楽しく過ごせました。

今年は、N1(日本語能力試験1級)受験に向けて頑張っているタイ出身の女性が私の担当です。夏には日本語スピーチコンテストのスピーチ原稿を一緒に考えました。現在はN1受験用の問題集と一緒に勉強していますが、聴解(リスニング)では、日本人でも確信をもって正解といえない問題も結構あります。「タイで大学を卒業していても、日本でできる仕事はパートさん、N1に合格したら、どんな仕事ができますか?」という質問には、正直勉強不足で答えられませんでした。日本語教師は、単に日本語を教えるだけではなく、外国人の採用に関して求められる日本語能力のレベルがどのくらいかというように、制度に関する勉強も必要だと思うようになりました。



楽しい新年会でした



Face to Face

紹介

ALT(外国語指導助手)

ドミニク・シスンさん

【アメリカ合衆国出身】

「ここにいるのは運命だった」と思う。まるで自分がパズルピースの一部かのように。祖母が小さい頃日本に住んでいたことや、私がジブリ映画や日本音楽を愛することから、私の人生において日本を訪れることは疑う余地もなかった。そして今、私はここにいる。渋川に来て約5年が経とうとしている。ここにいられることを感謝の言葉ではとても言い表せない。もしここに来る前に「渋川はどこか」と尋ねられたとしても、その頃の私は群馬県でさえも指さすことはできなかっただろう。だが今、私はこの美しい山並みの景観の地、群馬県を探検し尽くした。今や私は群馬県のツアーガイドもやってのけるだろう。

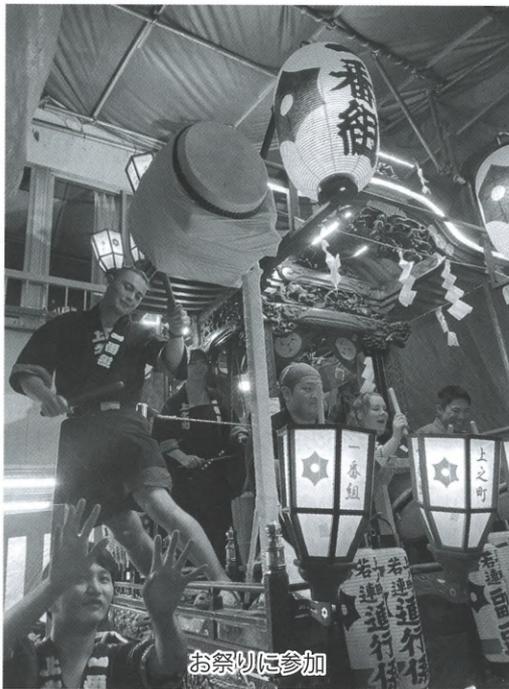
私は小さな町からやってきた。そしてこの雰囲気や故郷と同じように感じていた。この景色は私の故郷ととても似ていて、人々は親切だ。ここで出会った人たち

このコーナーでは、渋川市内及び近隣市町村で生活する外国人を紹介しています。

今回は市内小中学校でALT(外国語指導助手)をしているドミニク・シスンさん【アメリカ合衆国出身】とベンジヤミン・マフェットさん【オーストラリア連邦出身】の2名を紹介いたします。

のおかげで私自身が成長することができ、そして生涯続く友情も得られた。コロナのせいで体験出来なかったこともたくさんあった。現在は規制が落ち着いてきたのでその頃には触れられなかった伝統行事や祝日の過ごし方、文化、そしてもちろん、和食を楽しみ尽くすのだ!

去年、私は渋川山車祭に友達と参加した。初めて山車を引っ張ったので、その行事に参加することは私にとってとても挑戦的なことであり体も疲れたけれど、終わってみれば一つも後悔はない。地元の祭りを体験している間、私はその地域の一部になれた気がしてとても楽しかった。最後、山車を一緒に引いた仲間と座りながらご飯を食べているとき、ある種の達成感を感じずにはいられなかった。渋川にいる残りわずかの時間ももっといろいろな体験をしたいと思って、渋川の日々を私は今過ごしている。



お祭りに参加



みんなでピース!

I think I was always meant to be here-like a puzzle piece waiting to find its place. From my grandmother living in Japan at a young age, to my love for Ghibli films and Japanese music as a kid, I never doubted I would at least visit Japan at some point in my life. And now, here I am. I have been living in Shibukawa for almost five years now, and I couldn't be any more grateful for my time here. If you had asked me before coming here where Shibukawa was, I wouldn't have been able to point out even Gunma prefecture. But now, I have explored so much of this beautiful, mountainous prefecture, I feel like I could be a Gunma tour guide. I come from a small town and have always felt at home here. The scenery is very similar and the people are kind. I have made some lifelong friendships as

well as grown a lot as a person, thanks to the lovely people I was able to meet.

Due to covid, there were many things I missed experiencing. Now that restrictions are slowly lifting, I have enjoyed experiencing traditional festivals, holidays, culture, and of course, the food! Last year, I joined the Shibukawa Dashi Festival alongside some friends. It was very strenuous and challenging, but I don't regret it at all! I enjoyed feeling like I was part of a community while experiencing local traditions. Sitting with my teammates and enjoying a meal together at the end was so rewarding. I hope to experience much more before my time in Shibukawa ends.



Face to Face

紹介

ALT(外国語指導助手)

ベンジャミン・マフェットさん

【オーストラリア連邦出身】

群馬ってどこですか？日本に行って、群馬県渋川市というところに住むことになるのと分かった時に最初こう思いました。着くと、他のALTのみなさんや日本人の学校の先生がサポートしてくれて、渋川での生活に慣れることができました。

日本での旅が好きです。正確にいうと、旅をしてその旅行先の名物や郷土料理を食べることが好きです。定番の東京と京都への旅行を終えて、次に長野県に旅立とうとしました。林道で一回車をスタックしてしまいましたが、無事に帰ることができました。

その経験を経て、何があっても乗り越えられるような

自信をつけました。それからもっと攻めた旅行に行きました。車をフェリーに乗せて九州と四国へ訪れて、長距離運転で青森と山口までも行きました。こうして多くの外国人観光客が普段経験できない景色やローカルな食べ物の味を楽しみました。

渋川市に住むことができとても感謝しています。長旅に出回った後、静かな渋川市に戻って来ると落ち着きます。家族や友達が遊びにくるときに案内します。榛名山の絶景。水沢うどんと作りたてのホカホカ焼きまんじゅうの美味しさ。伊香保温泉。草津温泉。そしてもちろん、みんなの大好きなこんにやくとぐんまちゃん。全部誇らしく紹介します。

オーストラリアへ帰って、私の人生の新しいページをめくることまであと数か月しかありませんが、それまでの毎日感謝して楽しみ尽くします。第二の故郷は日本の中心にある群馬県渋川市という小さな町であることは一生忘れません。



しまなみ海道



家族で水沢うどん



京都の桜景色



165杯食べました

When I was first told that I'd be living in Shibukawa Gunma when I move to Japan, my first question was "Where's Gunma?". Thankfully when I arrived, with the support from other ALTs and my Japanese teachers at my schools, I was able to adapt to life here. I quickly developed a taste for traveling and eating local Japanese food. After visiting Tokyo and Kyoto, I decided to explore Nagano Prefecture by car, which was successful despite getting my car stuck on the side of a gravel road on a small mountain.

From that experience I developed a confidence in myself that I could overcome challenges whatever they may be and became more adventurous. I took car ferries to both Kyushuu and Shikoku and have traveled to both Aomori and Yamaguchi by car. Allowing me to see so much of Japan's beauty and taste local food

that many international travelers don't get to experience.

I am very grateful that I was placed in Shibukawa. After having traveled so much, I am always happy coming home to such a relaxing town. When my friends and family come to visit, I proudly show them the sights of Mt Haruna, the taste of Mizusawa udon and freshly made yakimanzuu, the onsens of Ikaho and Kusatsu and of course everyone's favorite konnyaku and Gunma-chan.

I only have a few months left before I return to Australia to begin a new chapter in life, but until then I will enjoy every day remaining with sincere appreciation for my life here. Never forgetting that my second home is in a small town, located in the middle of Japan, in a Prefecture called Gunma named Shibukawa.

